

担当教員: 佐野 彰

テーマ: 「特別研究以前」

4年次から始まる特別研究を見据えて、「自分は何をやりたいのか」・「何に興味を持っているのか」ということを考えるための場を提供してみようと思う。

実施形態:

ゼミ形式の発表やそこでの討論を通して自分自身の興味の方向性や考えを明確化し、他の人に説明できるようにすることが最初の課題です。

次に、自分自身の興味が「数理情報」という枠組みの中でどのようにアプローチ可能かを調べ、(できれば)簡単な計算機実験(シミュレーション)などで確認します。

最終的には、今後の特別研究において何をどのような方法で調べてみたいのかを自分自身の言葉で提示できれば素敵です。

主には自身の興味やテーマについて図書館やネットワークを利用して調べ、あるいはプログラム作成・計算機でシミュレートし、それらを発表してもらいます。ただし、必要に応じて、情報検索の方法や資料作成に必要な $\text{L}^{\text{A}}\text{T}_{\text{E}}\text{X}$ (文章作成ソフト)、あるいはプログラミング言語や数式処理ソフトなどを学ぶ時間を取る予定です。

もし時間に余裕があれば、以下の参考書を輪読します。

参考書:

「ロボットは心を持つか」、喜多村直、共立出版、2000.

備考:

- 自身で利用可能な脳をお持ちの方であれば予備知識は必要ありません。
- 「実はこんなことに興味があるのだけど、数理とは関係なさげだなあ。」という方は何か拾えるかも知れません。
- 佐野も特別研究を持ちますが、それとは無関係の内容で構いません。
- 配属を希望する人は面談に来てください。I-538 にいます。いつ来て頂いても構いませんが、留守にすることもあるので、メールでアポイントメントを取って下さると確実でしょう。  
メールアドレスは [sano@math.ryukoku.ac.jp](mailto:sano@math.ryukoku.ac.jp) です。